

令和3（2021）年度  
廿日市市との包括的連携協定に伴う  
地域連携センター活動報告書

山陽女子短期大学

地域連携センター

## 令和 3（2021）年度地域連携センター活動報告によせて

山陽女子短期大学 地域連携センター長

丸川 浩

山陽女子短期大学に、広島県内の大学・短期大学に先駆けて、生涯学習センターが設置されたのは、平成元（1989）年のことです。平成 24（2012）年には、機能をさらに強化し、活動領域を広げた組織として、地域連携センターが設置されました。また、その翌年の平成 25（2013）年には、廿日市市との間に「包括的連携協力に関する協定」が結ばれました。

こうした経緯で設置された地域連携センターは、現在、生涯学習部門、産官学連携部門、自治会部門が連携を取りながら、事業の運営を行っております。事業につきましては、本学の特性と地域からの要請を踏まえて、「1. 食と健康の増進」、「2. 教育・文化・生涯教育の推進」、「3. 地域の活性化・まちづくりの推進」、「4. 人材の育成」、「5. 環境活動の推進」、「6. 産官学連携事業」「7. その他の事業」の 7 分野で展開しております。また、事業を推進していくためには学生の参加協力が不可欠であることから、学内にボランティア委員会を設置し、学生のボランティア活動のサポートに当たっております。

廿日市市との協定締結の 9 年目に当たる本年度は、38 事業を予定しておりましたが（「令和 3 年度 山陽女子短期大学地域連携センター事業（予定）」）、新型コロナウイルスの感染拡大という状況の中で、ほとんどの事業が中止のやむなきに至りました。例年ならば、製本された冊子で発行している活動報告書ですが、本年も、わずかに実施できた事業と予定外の事業の報告をまとめた簡易な活動報告書になりました。

新型コロナウイルスの影響については、予断を許さない状況です。本学地域連携センターの活動は、各方面のご協力によって、運営されています。この先も、廿日市市の各部署、佐方自治会の方々と協議を重ねながら、活動を続けて行きたいと考えております。

今後とも、山陽女子短期大学地域連携センターの活動に対して、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 令和3年度 山陽女子短期大学地域連携センター事業

コロナ禍のため赤字項目のみ実施

## 1. 食と健康の増進

整理番号	事項	新規/継続	実施時期	連絡責任者	本学責任者	備考
1-1	栄養と健康に関する講座	新規	12月と3月	廿日市中央市民センター 佐方市民センター	吉村	食物栄養学科
1-2	保健指導関連事業	継続	10月頃	五師会	未定	
1-3	SAT システムによる食事指導	継続	未定		食物栄養学科 教員	食物栄養学科

## 2. 教育・文化・生涯教育の推進

整理番号	事項	新規/継続	実施時期	連絡責任者	本学責任者	備考
2-1	生涯学習フェスティバル	継続	11月頃	廿日市市教育委員会 生涯学習課	津村	SAT、スイーツ販売
2-2	山陽女子短期大学公開講座	継続	5月～6月 10月～12月	廿日市市教育委員会 生涯学習課	丸川	前期：統一テーマで、4回連続の開催予定 後期：全学科で担当し、別テーマで、単発の講座を2回開催予定
2-3	七福大学	継続	7月～9月 時期未定	佐方市民センター	丸川	講師：未定
2-4	パソコン基本操作	継続	3年3月	廿日市市教育委員会 生涯学習課	章	
2-5	親と子の野菜教室	継続	年6回	JA 佐伯中央	鈴木	

### 3. 地域の活性化・まちづくりの推進

整理 番号	事 項	新規/ 継続	実施時期	連絡責任者	本学責 任者	備考
3 - 1	街道まつり	継続	11 月	廿日市市郷土文化研究会	岡崎	要請があれば実施
3 - 2	「大新の桶すし」の再復活	継続	12 月	廿日市商工会議所婦人部 廿日市市郷土文化研究会	津村	「食育インストラクター特論」として代替実施
3 - 3	県内産食材を使用した焼き菓子販売	継続	未定	JA ふれあい市場廿日市	岡崎	
3 - 4	けん玉商店街“七夕まつり”	継続	7 月	廿日市駅通り商店会	日高	
3 - 5	廿日市市民センターまつり	継続	11 月	廿日市市民センター	岡崎	
3 - 6	れんげ祭り	継続	4 月下旬	佐方自治会	石永	全学募集 食べ物販売等
佐方 1	高齢者の食事会	継続	12 月	佐方自治会	平林	食物栄養学科 2 年生
佐方 2	佐方夜市夏祭り	継続	7 月	佐方中央商店街	岡崎	物販販売
佐方 3	佐方地区敬老会	継続	9 月	佐方自治会	石永	全学募集
佐方 4	地域花いっぱいうんどう	継続	11 月	佐方自治会	石永	全学募集 佐方地区
佐方 5	リトルシェフ	継続	11 月	佐方市民センター	下地 日高	食物栄養学科
佐方 6	子供餅つき大会	継続	12 月	佐方自治会	石永	全学募集 八幡神社境内
佐方 7	佐方地区とんど祭り	継続	1 月	佐方自治会	石永	全学募集 佐方小学校校庭
佐方 8	けん玉ワールドカップ	継続	7 月	廿日市市	岡崎	要請があれば実施、 食べ物販売

#### 4. 人材の育成

整理番号	事項	新規/継続	実施時期	連絡責任者	本学責任者	備考
4-1	インターンシップの推進	継続	8月	廿日市市人事課 企業・施設の担当者	章岡崎	
4-2	ゼロからはじめる癌登録	継続	年に2回		梅本	
4-3	生理機能検査スキルアップ研修	継続	2月		溝渕	広島県における超音波検査レベルの向上

#### 5. 環境活動の推進

整理番号	事項	新規/継続	実施時期	連絡責任者	本学責任者	備考
5-1	はつかいち環境フェスタ	継続	10月	はつかいち環境フェスタ実行委員会	岡崎	
5-2	手指衛生等の出前授業	継続	申し込み次第	廿日市教育指導課	藤井	
5-3	台所用品の衛生度チェック	継続	申し込み次第		藤井	
5-4	花粉飛散調査	継続	3月～6月		岡村	

#### 6. 産官学連携事業

6-1	ナマコ、ムール貝、アサリの加工品の品質改善	継続	未定	濱本水産(株)	岡崎	共同研究契約締結予定
6-2	ムール貝のおいしさと品質について	新規	4月～3年3月	廿日市市、県立広島大学	岡崎・平林	

## 7. その他の事業

整理 番号	事 項	新規/ 継続	実施時期	連絡責任者	本学責 任者	備考
7 - 1	ブレストケア・ピンクリ ボンキャンペーン	継続	9月		未定	
7 - 2	エイズ啓発活動	継続	6月 12月	広島県。広島市 (一社) 広島県臨床検 査技師会	小野寺 岡村	
7 - 3	ひろしまフードフェス テバル	継続	10月	JA 広島	日高	
7 - 4	廿日市市消防団「機能別 団員」	継続		廿日市市消防署	鈴木	
7 - 5	広島野球傷害検診 (HYMECS)	新規		広島野球傷害検診運 営委員会 広島大学整形外科学 教室	溝渕	

活動名 1-1 (1)	高齢者対象 栄養と健康
目的または趣旨	介護予防/フレイル予防について 介護予防教室 二回目
共催団体名および 共催の経緯 (依頼理由)	廿日市市民センター 広島市広域都市圏地域貢献人材育成支援事業 学生と一緒に活動を行い、地域貢献の重要性を学
年・日時~年・日時	2022.3.16
活動拠点	廿日市中央市民センター
参加者 教員（責任者には★） 学生（所属・学年・人数）	★吉村 真奈美 森川先生 食物栄養学科管理コース1年2名+卒業生
活動内容	オーラルフレイルについて ① 身体測定を行う。握力・上腕周囲長・皮下脂肪厚 ② 食事チェック ① と②に関しては学生とともに活動する ③ オーラルフレイルについて説明 座学 オーラルフレイルチェック イレブンチェック パタカラ体操 あいうべ体操 噛むことの大切さを多方面から説明 歯の数と転倒の関連 噛むことと認知症の関連 など
反省・コメント	16名参加（20名募集）であった。身体測定を行う際に厚着をされている方もおられ、前回の身体計測とかなり違う結果が出る方がおられたので、何度か計測をやり直した。
添付書類	(有) 無)

介護予防教室 2022年3月16日 廿日市中央市民センター 歯のクイズの場面 ↓



介護予防教室 2022年3月16日 フレイルについての説明 場面 ↓



活動名 1-1(2)	高齢者対象 栄養と健康
目的または趣旨	介護予防/フレイル予防について 介護予防教室 二回目
共催団体名および 共催の経緯 (依頼理由)	廿日市佐方センター 広島市広域都市圏地域貢献人材育成支援事業 学生と一緒に活動を行い、地域貢献の重要性を学
年・日時~年・日時	2022.3.18
活動拠点	廿日市佐方市民センター
参加者 教員(責任者には★) 学生(所属・学年・人数)	★吉村 真奈美 森川先生 食物栄養学科管理コース1年2名
活動内容	オーラルフレイルについて ① 身体測定を行う。握力・上腕周囲長・皮下脂肪厚 ② 食事チェック ① と②に関しては学生とともに活動する ③オーラルフレイルについて説明 座学 オーラルフレイルチェック イレブンチェック パタカラ体操 あいうべ体操 噛むことの大切さを多方面から説明 歯の数と転倒の関連 噛むことと認知症の関連 など 今回初めて参加される方が5名いらっしゃった。
反省・コメント	8名参加(20名募集)であった。今回2回目の講座ではあったが、初参加の方が5名おられたので、フレイルに関する話がオーラルフレイルについてが主であったため、理解しにくいところがあったように感じた。資料は前回分も用意してはあった。
添付書類	(有) 無)

介護予防教室  
ている場面

2022年3月18日  
(2枚とも)

学生が食生活チェックシートを使用して聞き取りをし  
↓



地域貢献・地域連携活動報告

学科名 食物栄養学科

活動名 1-1(3)	高齢者対象 栄養と健康
目的または趣旨	フレイル予防
共催団体名および 共催の経緯 (依頼理由)	廿日市市民センター 広島市広域都市圏地域貢献人材育成支援事業 学生と一緒に活動を行ない、地域貢献の重要性を学ぶ
年・日時~年・日時	2021.12.20
活動拠点	廿日市市民センター
参加者 教員(責任者には★) 学生(所属・学年・人数)	★吉村真奈美 森川先生 食物栄養学科管理コース1年4人
活動内容	フレイル予防 ① 身体計測を行う 握力・上腕周囲長・皮下脂肪厚 ② 食事チェック ③ フレイルについて パワーポイントを用いて説明 ④ 厚生労働省のフレイル予防のパンフレットを使用して フレイル予防のための食事について説明 フードモデルを使用 ⑤ 指輪っかでテストを行いサルコペニアチェック ⑥ DVDを用いての体操 ～ごぼう先生のイス体操
反省・コメント	16名の参加(20名募集)
添付書類	(有) 無)



↑ 介護予防教室 DVDを使用した体操を行なっている

↓ 介護予防での講習中



地域貢献・地域連携活動報告

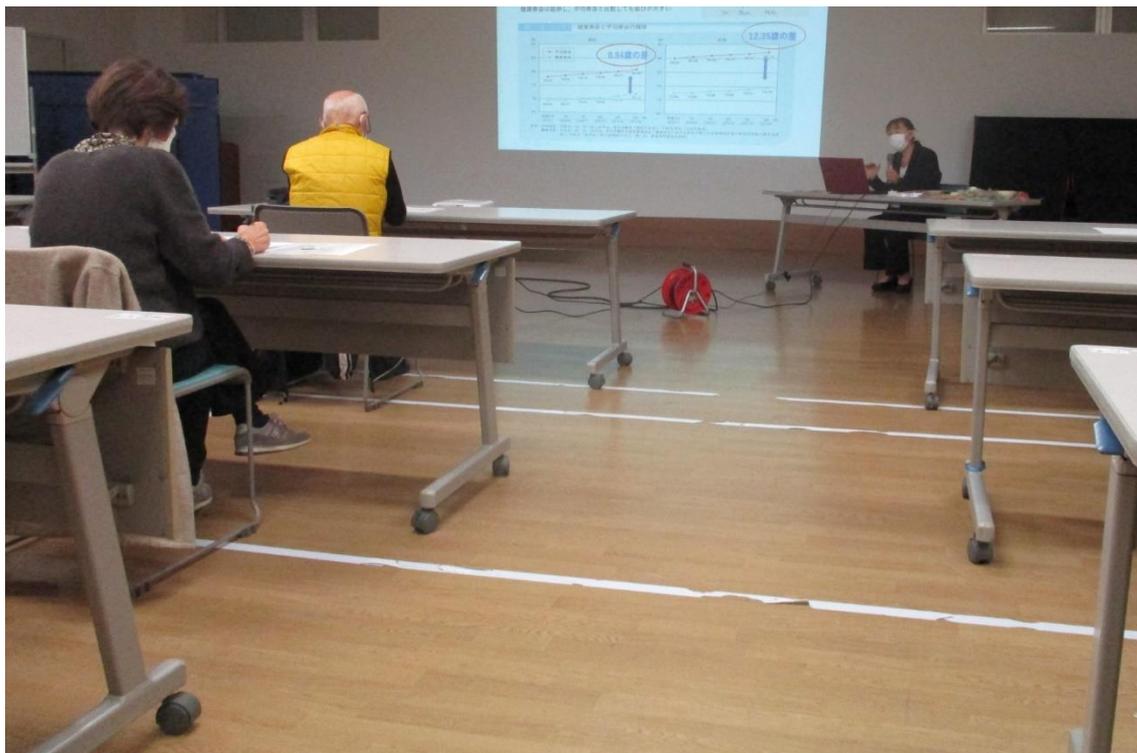
学科名 食物栄養学科

活動名 1-1(4)	高齢者対象 栄養と健康
目的または趣旨	フレイル予防
共催団体名および 共催の経緯 (依頼理由)	廿日市佐方市民センター 広島市広域都市圏地域貢献人材育成支援事業 学生と一緒に活動を行ない、地域貢献の重要性を学ぶ
年・日時～年・日時	2021.12.13
活動拠点	廿日市市佐方市民センター
参加者 教員（責任者には★） 学生（所属・学年・人数）	★吉村真奈美 森川先生 食物栄養学科管理コース1年2人
活動内容	フレイル予防 ⑦ 身体計測を行う 握力・上腕周囲長・皮下脂肪厚 ⑧ 食事チェック ⑨ フレイルについて パワーポイントを用いて説明 ⑩ 厚生労働省のフレイル予防のパンフレットを使用して フレイル予防のための食事について説明 フードモデルを使用 ⑪ 指輪っかでテストを行いサルコペニアチェック ⑫ DVDを用いての体操 ～ごぼう先生のイス体操
反省・コメント	6名の参加（20名募集）
添付書類	(有) 無)

2021.12.13 佐方市民センター 上腕周囲長測定中



介護予防講義中



地域貢献・地域連携活動報告

活動名 2 - 3	七福大学（高齢者学級）
目的または趣旨	地域住民に生涯学習の機会を提供する。
共催団体名および 共催の経緯 (依頼理由)	主催：佐方市民センター 経緯：毎年 1 回、山陽女子短期大学教員が担当しており、今年は人間生活学科の金岡敬子教授が担当した。
年・日時	2021 年 7 月 15 日
活動拠点	佐方市民センター
参加者 教員（責任者には★） 学生（所属・学年・人数）	講師：金岡敬子 受講者数： 約 12 名（最終の人数の確認ができていないため）
活動内容	「人生 100 年時代 教養の磨き方」というテーマで講演を行った。 佐方市民センターのホームページに、『元気が湧いてくるような、とてもわかりやすい講義でした。ブレイクタイムに行った間違い探しや、ロサンゼルス・エンゼルスの大谷選手が高校生の時に作った「マンドラート」の紹介に、みなさん興味をひかれたようで、発言や表情も生き生きしていました』、『これからの人生・生き方を考えてみたいと思える、貴重な機会となりました』と、当日の様子が掲載された。
反省・コメント	コロナ禍で参加者が少ないのではと心配しましたが、思ったより多くの方が参加されて、大変熱心に受講されておりました。配布した資料を基に実施したワークにも積極的に参加して頂けて、有意義な時間となりました。
添付書類	(有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> )

地域貢献・地域連携活動報告

地域連携センター生涯学習部門

活動名 2-2	第 41 回 山陽女子短期大学公開講座 (2021 年度後期)
目的または趣旨	地域住民に生涯学習の機会を提供する。
共催団体名および 共催の経緯 (依頼理由)	共同主催：山陽女子短期大学 廿日市市教育委員会
年・日時～年・日時	第 1 回 2021 年 11 月 20 日 (土) 13:30～15:00 第 2 回 2021 年 12 月 11 日 (土) 13:30～15:00
活動拠点	山陽女子短期大学
参加者 教員 (責任者には★) 学生 (所属・学年・人数)	全体の責任者：丸川 浩 運営：山陽女子短期大学地域連携センター生涯学習部門 廿日市市教育委員会生涯学習課
活動内容	第 1 回は、「医療と危機管理」をテーマとして、本学の石河健教授が、 第 2 回は、「輸血医療の安全性」をテーマとして、本学の小野寺利恵 准教授が講師となって開催した。 一般参加応募者数：第 1 回 15 名 第 2 回 17 名
反省・コメント	コロナ禍のなか、前年度は前期・後期ともに、今年度も前期の講座が 行えなかったため、2 年振りの公開講座開催である。講座終了時に行 ったアンケート結果では、第 1 回が 93%、第 2 回が 100%の受講者が 「満足」「やや満足」と回答しているため、好評だったと考えられる。 今回の公開講座では、受講料を取らなかった。
添付写真	<input checked="" type="checkbox"/> (有) 無)



地域貢献・地域連携活動報告

活動名 佐方ー1	2021年度 高齢者の食事会（お弁当配布） （佐方自治会行事への積極的参加）
目的または趣旨	廿日市市佐方地区のお一人住まいのご高齢の方にお昼をお弁当配布した。 目的は、他人との関わりが少なくなっているコロナ禍に、お一人住まいのご高齢の方のお食事のサポートを行うこと、また食事の提供による食育を行う事で、健康な食生活を送ってもらうことである。
共催団体名および共催の経緯（依頼理由）	廿日市市教育委員会 廿日市市社会福祉協議会 佐方アイラブ自治会 連絡責任者 佐方アイラブ自治会副会長 古川敏雄様
日時	2021年12月17日（金）11時お渡し
活動拠点	本学 集団給食実習室
参加者 教員（責任者には★） 学生（所属・学年・人数）	廿日市市教育委員会 2名 廿日市市社会福祉協議会 2名 佐方地区高齢者 51名 アイラブ自治会 2名 佐方市民センター長 1名 民生児童委員 8名 住民福祉事業局 4名  計 70名  担当教員 ★平林 眞弓・水本 沙織 学生 食物栄養学科栄養管理コース1年生 32名  計 34名 合計 104名
活動内容	12月17日(金) 10:50 大学に佐方アイラブ自治会ご担当者が到着・お弁当のお渡し献立 ・散らし寿司 ・天ぷら ・南瓜と厚揚げの煮物 ・デザート（水羊羹・りんご）
反省・コメント	例年高齢者の方を招いての食事会であったが、新型コロナウイルスの影響でご来学していただくことが難しく、直接召し上がられている反応を見ることができず残念だった。
添付書類	有



地域貢献・地域連携活動報告

学科名 食物栄養学科

活動名 3-2	「桶寿司」講習会
目的または趣旨	廿日市市に伝わる桶寿司の歴史を知り、復活した桶寿司のつくり方を学ぶ。
共催団体名および共催の経緯(依頼理由)	主催：廿日市郷土文化研究会 経緯：郷土文化研究会正木様から重田先生に依頼があり、桶寿司文化の継承のため、2012年から毎年開催している。
年・日時～年・日時	2021年12月3日(金) 9～13時
活動拠点	本学総合調理実習室
参加者 教員(責任者には★) 学生(所属・学年・人数)	教員 ★津村なみえ 学生 食物栄養学科・2年・3名
活動内容	郷土文化研究会(正木(康)、吉岡、大塚、正木)、廿日市市商工会議所女性会(水本)様(合計5名)ご協力のもと、廿日市市に伝わる「桶寿司」のつくり方を教えていただきながら作った。重石をのせて漬け込む合間によもぎ餅も作った。 桶寿司とは何か、桶寿司を復活させたときのいきさつなどを聞き、談笑しながら桶寿司をいただいた。
反省・コメント	学生たちも質問や味見をしながら楽しみながら作っていた。年の離れた方達とも和気あいあいと会話・交流ができていた。 食育インストラクター授業の一環として行っているが、参加者が増えるようさらに呼びかけて実施したい。
添付書類	有



地域貢献・地域連携活動報告

学科名 臨床検査 学科

活動名	広島 US meeting
目的または趣旨	広島県における超音波検査レベルの向上
共催団体名および共催の経緯(依頼理由)	主催：広島 US 向上委員会 共済：キャノンメディカル株式会社 (勉強会を無料で開催するため、共催企業に会場代と講師代を負担して貰っている。)
年・日時～年・日時	2021年2月26日 土曜日 13:00～17:00
活動拠点	広島県
参加者 教員(責任者には★) 学生(所属・学年・人数)	溝渕 亜矢★ 参加者：広島県および近隣県の医療機関に勤務する 臨床検査技師および診療放射線技師
活動内容	<p>広島県の超音波検査技術向上を目的とし、年に1度講習会を開催している。県内の若手技師に発表の場を設ける事と、県外の著名な医師や技師をお招きし、講演して頂く事を指針としている。溝渕は広島 US 向上委員会の役員として企画運営に携わっており、プログラム作成、講師選出等を担当している。</p> <p>今年度はコロナ感染拡大のため昨年に引き続き Web 開催となった。250名もの参加があり、次年度以降も継続予定である。コロナ後は学生にスタッフとして参加してもらい、臨地実習先、就職先の病院との繋がりをもつ機会としても活用していきたいと考えている。</p>
反省・コメント	本学卒業生も多数参加してくれていた。今後は本学卒業生が演者となれる機会を少しずつ増やしていきたい。
添付書類	(有) 無)

11<sup>th</sup>

Echo  
Seminar

# Hiroshima US Meeting

2022年 2月26日(土) 14:00~16:20

Microsoft TeamsにてWEB ライブ配信

(本セミナー終了後のオンデマンド配信はありません)

事前登録制になります。  
詳しくは裏面をご覧ください

14:00 開会挨拶 広島赤十字・原爆病院 検査部 生理学検査課 浅野 清司 先生

## 特別講演

14:05 座長 広島赤十字・原爆病院 検査部 生理学検査課 吉武 美香 先生

### 『分かり易い神経筋エコー』

徳島大学病院 脳神経内科 高松 直子 先生

14:55 休憩

## 腹部ワンポイントレクチャー

15:00 座長 北広島病院 健康管理室 今田 直幸 先生

レクチャー1

### 虫垂の描出

東広島医療センター 臨床検査科 上田 信恵 先生

15:20

レクチャー2

### 膵臓の描出

広島逋信病院 放射線室 松原 進 先生

15:40

レクチャー3

### 肝硬度測定(SWE)の評価方法

広島赤十字・原爆病院 検査部 生理学検査課 中司 恵 先生

16:10 閉会挨拶 済生会広島病院 臨床検査室 鈴木 敬悟 先生

共催:広島US向上委員会

キヤノンメディカルシステムズ株式会社

# セミナーへの参加方法

**視聴は事前登録制**です。

- ・参加費用はかかりません。
- ・PCまたは、スマートフォン/タブレットより参加可能です。



▼参加登録はこちらから(専用ホームページ)

<https://business.form-mailer.jp/fms/b23fe919160556>



**事前登録締め切り 2/25(金)20時**

- ・登録締め切りを2022年2月25日 20時とさせていただきます。予めご了承ください。
- ・参加者は医療従事者(臨床検査技師、診療放射線技師等)の方とさせていただきます。
- ・同業他社による参加申し込みはご遠慮ください。
- ・ご登録後にキャンセルをご希望の場合は、特に連絡いただく必要はありません。お気軽にご登録ください。

## Microsoft Teamsのインストールについて

- ・スマートフォン、タブレットをご使用される場合は以下の方法で**事前に「Microsoft Teams」をインストール**をお願い申し上げます。
- ・PCからご参加の場合はインストール作業は不要ですが、**Microsoft Edge、Google Chrome**の最新のバージョン以外では完全サポートされていないため、Teamsアプリのご使用を推奨いたします。

「Microsoft Teams」は、以下URL、QRコード、もしくはアプリインストール機能より無料で入手できます。  
URL: <https://www.microsoft.com/ja-jp/microsoft-365/microsoft-teams/download-app>

インストールはこちらから▶



iOSからのインストール▶

Androidからのインストール▶



Microsoft Teams  
ビジネス  
★★★★☆ 9.3万



Microsoft Teams  
Microsoft Corporation

## 当日の閲覧方法

開催の1週間前を目途に、それまでにご登録いただいた方へWebセミナー視聴URLを送付いたします。当日時間になりましたら、受信メールに記載されておりますURLをクリックします。自動で画面が切り替わります。PCの場合は「今すぐ参加」をクリックしてください。スマートフォン・タブレットの場合は以下の手順でご参加ください。

▼PCからのご参加の場合(Teamsアプリから視聴)



「今すぐ参加」をクリック

▼PCからのご参加の場合(ブラウザ(Microsoft Edge、Google Chrome)視聴)



▼スマートフォン・タブレットからのご参加の場合



※左のアクセス許可の画面が出た場合は、「設定」もしくは「OK」をタップしてください。マイクの設定をonにした後、再度メールアドレスから会議参加をやりなおしてください。



※メッセージが消えるまでこのままお待ちください。

お問い合わせ先: キヤノンメディカルシステムズ株式会社 担当: 柴田  
Mail: [yukari1.shibata@medical.canon](mailto:yukari1.shibata@medical.canon)

Tel: 082-511-8512